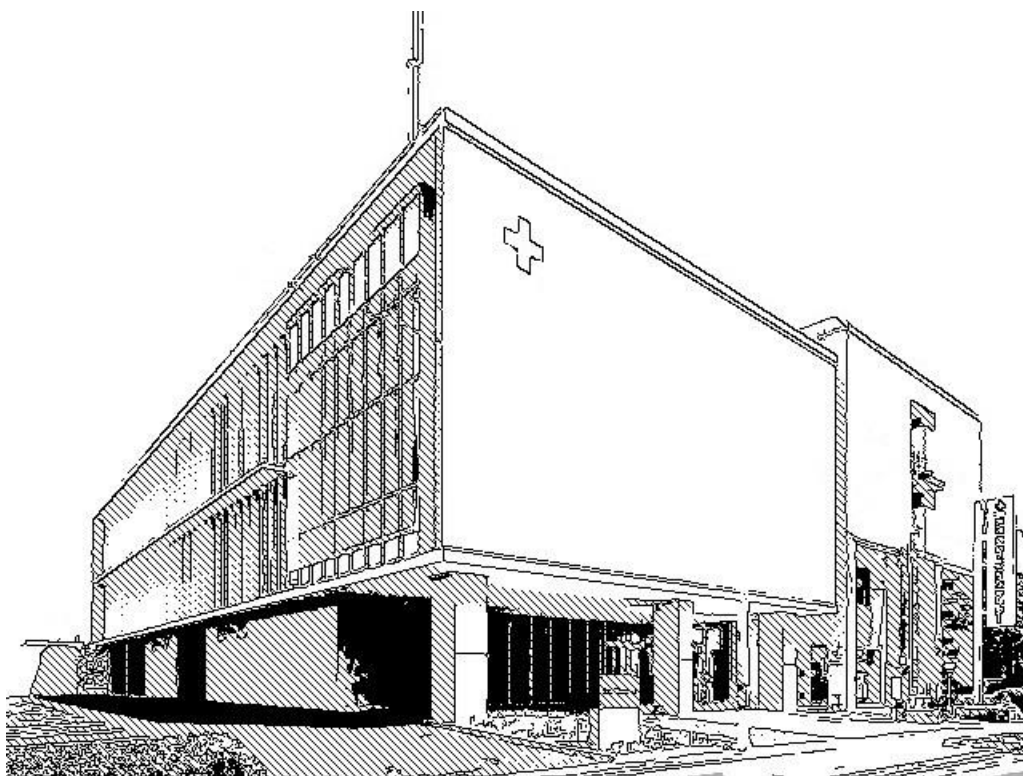


令和3年度  
事業報告  
一般会計歳入歳出決算報告



日本赤十字社岐阜県支部 社屋全景

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

## 日本赤十字社の使命

わたしたちは、  
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、  
いかなる状況下でも、  
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

## わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

## わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、  
人道の実現のために、  
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、  
人の痛みや苦しみに目を向け、  
常に想像力をもって行動します。

# 目 次

I	はじめに ～令和3年度をふりかえって～	1
II	令和3年度事業の実施状況	
1	災害救護	2
(1)	救護員の育成	3
(2)	救護員の登録・編成状況	4
(3)	救護資機材、救援物資の整備状況	4
(4)	防災ボランティアの養成状況	6
(5)	災害義援金の受付状況	7
(6)	防災・減災の取組み	7
2	講習普及事業	
(1)	救急法	9
(2)	水上安全法	11
(3)	健康生活支援講習	11
(4)	幼児安全法	13
(5)	指導員の養成・研修等の実施状況	14
3	赤十字奉仕団、ボランティアの活動	
(1)	奉仕団の活動状況	15
(2)	助成金交付状況	17
(3)	奉仕団別組織状況	17
(4)	会議及び研修会の開催	17
(別表)	赤十字奉仕団現況表	19
4	青少年赤十字の活動	
(1)	活動概要	20
(2)	加盟校概要	22
(3)	トレーニング・センター等の実施状況	23
(4)	指導者対象の協議会、研修等の実施状況	23
(別表)	岐阜県青少年赤十字加盟校一覧	24
5	国際活動	
(1)	発展途上国に対する開発計画援助	26
(2)	職員の派遣	26
(3)	NHK海外たすけあいキャンペーン	26
(4)	国際人道法等の普及	26
(5)	海外救援金の受付状況	27
(6)	安否調査の実施	27
6	県内赤十字施設の運営と連携	
(1)	医療施設の運営	28
(2)	血液事業の推進	29
(3)	赤十字施設間会議の開催	30
(4)	監査及び予備監査の実施	30

7	看護師の養成	
	(1) 赤十字看護師の養成	32
	(2) 学生確保のための活動	32
8	赤十字思想の普及・広報	
	(1) イベントの開催	33
	(2) 広報資材の作成と配布	33
	(3) メディアを活用した広報展開	34
	(4) 赤十字思想の普及	34
9	会員と活動資金	
	(1) 会員及び社資の状況	35
	(2) 会員の拡充強化	36
	(3) 岐阜県赤十字有功会	37
	(4) 企業等とのパートナーシップ	38
	(5) 表彰	38
10	役員・評議員	
	(1) 岐阜県支部の組織	39
	(2) 評議員会等の開催状況	39
11	人材育成	
	(1) 職員研修の実施状況	40
	(2) 職員の採用状況	41
III	令和3年度一般会計歳入歳出決算報告	42
IV	令和3年度岐阜県支部及び施設概況	
1	岐阜県支部の組織	
	(1) 日本赤十字社本社（岐阜県支部関係）役員名簿	51
	(2) 岐阜県支部役員名簿	51
	(3) 岐阜県支部評議員名簿	52
	(4) 岐阜県支部地区・分区長名簿	54
	(5) 岐阜県支部地区・分区一覧表	56
2	施設概況	58
3	日本赤十字社の機構	59
4	日本赤十字社現勢	60

\* 本事業計画中の取扱数等については、特別な記載がない限り、令和4年3月31日現在の数字となります。

# I はじめに ～令和3年度をふりかえって～

赤十字事業の推進につきましては、会員、ボランティア、地区・分区、青少年赤十字加盟校関係者をはじめとした県民の皆様から深いご理解と温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

日本赤十字社岐阜県支部では、社会課題やニーズに応え、人々の「いのちと健康、尊厳を守る」という使命の達成のため、令和3年度も県内赤十字施設一体となり、赤十字事業に取り組んでまいりました。

現在もなお収束には至っていない新型コロナウイルス感染症は、感染力が強いとされるオミクロン株の発生などにより感染が拡大しましたが、県内の高山・岐阜の両病院をはじめ全国の赤十字病院において、過酷な状況が続く中、感染症患者の診察や受入れに総力をあげて取り組んでおります。

血液事業においては、献血者の減少による供給不足が懸念されましたが、感染予防策を徹底した安全な献血会場の運営や予約献血の拡充に努めるなどして、安定した血液確保に取り組みました。

災害救護事業に関しましては、いつ起きるかもしれない災害に備え救護体制の整備を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症の感染防止等の観点からこの2年間中止となっていた日本赤十字社第3ブロック支部合同災害救護訓練が、オンライン訓練という形で実施され、避難所アセスメント巡回診療訓練などを行いました。また、岐阜県支部では、災害時のこころのケアの体制強化と充実を図るため、指導員研修や連絡会を開催するとともに、岐阜県DPATとの連携などにも取り組みました。

講習事業については、感染防止の観点から、講習内容の見直しや対象者を限定した実施など、開催を制限してきましたが、最近の感染症患者の状況などを踏まえ、令和4年度からは、一般市民を対象に実技（人工呼吸を除く。）も含んだ内容で開催することとしております。

海外に目を転じますと、令和4年2月以降、ウクライナ各地で激化した紛争により、深刻な人道危機が続いています。国境を越え拡大していく人道問題に対しても、日本赤十字社では、赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟、各国赤十字・赤新月社と連携し、資金の拠出、要員の派遣など着実な活動を続けてまいります。

日本赤十字社は発足以来、苦しんでいる人を救いたいという信念と多くの支えにより、様々な事業に取り組んでまいりました。今後も、赤十字に関わる全ての人々と手を携え、地域の皆様の期待と信頼に応えるため努めてまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## II 令和3年度事業の実施状況

### 1 災害救護

岐阜県支部では、災害時の救援物資として、毛布や身の回り品をセットにした緊急セットを各市町村に配置し、また、支部庁舎内の備蓄倉庫のほか、県内9カ所の拠点災害備蓄倉庫に、毛布・緊急セットのほか、安眠セット、ブルーシート、災害用移動炊飯器、かんたんテントなどを配置している。

災害時の医療救護体制については、災害救助法に基づく救助委託協定及び岐阜DMATの派遣に関する協定を岐阜県と締結し、災害拠点病院に指定されている高山赤十字病院と岐阜赤十字病院に、合計8個班の医療救護班と4個班のDMATを編成している。

災害発生時に救護活動が迅速かつ的確に行えるよう、日頃から訓練や研修を行い、体制を整えている。



第3ブロック支部合同災害救護訓練  
新型コロナウイルス対策のため、初のオンライン訓練を開催、WEBを通じて避難所アセスメント巡回診療訓練を実施



第3ブロック支部合同災害救護訓練（患者対応の様子）  
模擬患者役は感染対策のためカード形式で実施し、災害診療記録と診療日報（J-SPEED）を作成



支部職員対象本部設置訓練の様子  
発災時の対応手順を確認後、本部資機材を展開し災害対策本部を設置、被災地情報の集約を実施



こころのケア指導者研修会の様子（オンライン開催）  
精神保健医療版災害診療記録及びJ-SPEED日報の記載方法の確認、岐阜県DPATの活動に関する講義を受講

(1) 救護員の育成

① 訓練実施状況

主催別	名称	実施月日	場所	参加者 (人)
ブロック	第3ブロック支部合同 災害救護訓練	令和3年10月17日	富山県 オンライン開催	10
支部	支部災害対策本部設置 訓練	令和3年5月28日 6月8日	支部事務室	14
	支部施設合同災害救護 訓練	新型コロナウイルス感染 症感染防止のため中止	—	—

② 研修会開催状況

主催別	名称	実施月日	場所	参加者 (人)
本社	全国赤十字救護班 研修会	新型コロナウイルス感染 症感染防止のため中止	—	—
	日赤災害医療コーディネーター チームフォローアップ研修会	令和4年3月13日	オンライン開催	8
支部	こころのケア指導者 研修会	令和4年3月9日	オンライン開催	12

③ 会議開催状況

主催別	名称	実施月日	場所	参加者 (人)	
ブロック	第3ブロック支部事業 推進課長会議	令和3年5月17日	富山県 オンライン開催	13	
	ブロック訓練打合せ会 (第1回)	令和3年8月26日	オンライン開催	13	
		(第2回)	令和3年9月2日	オンライン開催	13
支部	支部施設災害救護対応 検討会	(第1回)	令和3年5月7日	オンライン開催	12
		(第2回)	令和3年7月29日	オンライン開催	13
		(第3回)	令和3年10月5日	オンライン開催	13
		(第4回)	令和4年1月26日	オンライン開催	10
	こころのケア指導者 連絡会	(第1回)	令和3年9月30日	オンライン開催	8
		(第2回)	令和3年12月23日	オンライン開催	8

## (2) 救護員の登録・編成状況

○常備救護班編成数及び要員数 ※救護班は、1班7人で編成

区分 施設名	常備救護班 (班)	常備救護班内訳(人)						災害対策本部要員 (人)	血液供給要員 (人)
		医 師	看 護 師 長	助 産 師	看 護 師	薬 劑 師	主 事		
高山赤十字病院	5	5	5	10	5	10	35	2	
岐阜赤十字病院	3	3	3	6	3	6	21	2	
岐阜県赤十字血液センター								2	2
岐 阜 県 支 部								11	
計	8	8	8	16	8	16	56	17	2

## (3) 救護資機材、救援物資の整備状況

### ①大規模災害に備えた拠点災害備蓄倉庫

県下5圏域10箇所に設置した拠点災害備蓄倉庫に救援物資を備蓄し、災害時における被災者への迅速な支援体制を整えている。

#### ア) 拠点災害備蓄倉庫設置場所

圏 域	場 所	
岐阜圏域	岐阜市	日本赤十字社岐阜県支部
西濃圏域	大垣市	西濃総合庁舎敷地内
	揖斐川町	揖斐総合庁舎敷地内
中濃圏域	美濃加茂市	可茂総合庁舎敷地内
	美濃市	中濃総合庁舎敷地内
	郡上市	郡上総合庁舎敷地内
東濃圏域	多治見市	東濃西部総合庁舎敷地内
	恵那市	恵那総合庁舎敷地内
飛騨圏域	高山市	飛騨総合庁舎敷地内
	下呂市	下呂総合庁舎敷地内

#### イ) 救援物資整備現況

設置場所		毛布	緊急 セット	ブルー シート	安眠 セット	タオル ケット	簡易 テント	災害用移動 炊飯器
		(枚)	(セット)	(枚)	(セット)	(枚)	(張)	(台)
岐阜	支部	4,060	318	1,340	522	1,820	5	3
西濃	西濃庁舎	400	96	500	144	100	1	1
	揖斐庁舎	400	60	200	144	100	1	1



中濃	可茂庁舎	400	90	500	144	100	1	1
	中濃庁舎	400	60	200	144	100	1	1
	郡上庁舎	400	60	200	144	100	1	1
東濃	東濃西部庁舎	400	60	200	144	100	1	1
	恵那庁舎	400	96	500	144	100	1	1
飛騨	飛騨庁舎	400	96	500	144	300	1	1
	下呂庁舎	500	60	200	130	100	1	1
計		7,760	996	4,340	1,804	2,920	14	12

## ②災害救援車両等の配備

各地区分区に災害救援車両等を配備し、地域における災害救護体制強化を図っている。

また、令和3年度は、災害時の医療救護班派遣等に使用する高山赤十字病院の救急車1台について、更新を行った。



高山赤十字病院に更新配備した救急車

## ○令和3年度配備状況

品名	配備先					
	地区名	分区名				
災害救援車両 (4台)	美濃加茂市地区	1台	輪之内町分区	1台		
	本巣市地区	1台				
	飛騨市地区	1台				
	計	3台			計	1台
災害用 移動炊飯器 (11台)	岐阜市地区	8台	岐南町分区	1台		
	瑞穂市地区	1台			揖斐川町分区	1台
	計	9台				
天幕 (11張)	岐阜市地区	10張				
	大垣市地区	1張				
	計	11張				
災害備蓄倉庫 (2棟)	多治見市地区	1棟	笠松町分区	1棟		
	計	1棟			計	1棟
自動体外式 除細動器 (AED) (19台)	岐阜市地区	1台				
	大垣市地区	1台				
	高山市地区	1台				
	関市地区	1台				
	中津川市地区	1台				
	美濃市地区	1台				
	羽島市地区	1台				

	恵那市地区	1台	
	美濃加茂市地区	1台	
	土岐市地区	1台	
	可児市地区	1台	
	山県市地区	1台	
	瑞穂市地区	1台	
	本巣市地区	1台	
	飛騨市地区	1台	
	郡上市地区	1台	
	下呂市地区	1台	
	海津市地区	1台	
	岐阜県支部	1台	
		計 19台	

### ③り災者への救援状況

小規模な災害、火災などによるり災者に対し、毛布や緊急セット、お見舞い金の送付など、災害時に準じた対応を行った。

#### ○お見舞の状況（毛布・緊急セット及びお見舞金）

種類	対象世帯	対象人数	お見舞数等
毛布	48世帯	98人	88枚
緊急セット	51世帯	105人	50セット
お見舞金			220,000円

## （４）防災ボランティアの養成状況

### ①赤十字防災ボランティアの養成

赤十字精神を理解し岐阜県支部の災害救護活動をサポートする防災ボランティア養成のための研修会を計画したが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催を中止とした。現在、63名の赤十字防災ボランティアを登録している。

#### ○赤十字防災ボランティア登録人数 （単位：人）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
51	60	67	65	63

### ②防災ボランティアのためのこころのケア研修の実施

ボランティアの方々が、被災地での活動を安全に実施できるように、きめ細かなこころのケアの提供と自己管理を含めた対処法を学ぶ「防災ボランティアのためのこころのケア研修」を実施した。

実施月日	場所	受講者（人）
令和3年10月20日	高山赤十字病院	3

## (5) 災害義援金の受付状況

国内の被災者を支援する義援金の募集を下表のとおり行い、多くの方々からのご支援をいただいた。これらの義援金は、日本赤十字社本社を通して、各被災県の義援金配分委員会に全額送金した。

義援金名	件数	金額（円）
平成 30 年 7 月豪雨災害義援金（広域）	48	531,236
令和 2 年 7 月豪雨災害義援金（広域）	145	1,427,431
令和 3 年 2 月福島県沖地震災害義援金	64	524,651
令和 3 年島根県松江市大規模火災義援金	44	210,686
令和 3 年 7 月大雨災害義援金	133	1,361,894
令和 3 年台風第 9 号等大雨災害義援金	62	241,560
令和 3 年 8 月大雨災害義援金	128	1,238,545
令和 3 年長野県茅野市土石流災害義援金	47	134,941
令和 4 年 3 月福島県沖地震災害義援金	3	130,000
合計	674	5,800,944

## (6) 防災・減災の取組み

### ①防災教育事業の実施

過去の災害から得た教訓を踏まえ、地域住民が自ら災害から命を守り、り災に伴う心身の苦痛を軽減することを目的に、災害への備えについての説明や災害図上訓練（DIG）などの防災教育事業を次のとおり実施した。

実施月日	会場	参加者（人）
令和 3 年 10 月 21 日	郡上市立吉田小学校	15
令和 3 年 10 月 25 日	本巣市立弾正小学校	45
令和 3 年 11 月 12 日	輪之内役場 (輪之内町赤十字奉仕団)	7
令和 3 年 11 月 19 日	郡上市役所大和庁舎 (郡上市赤十字奉仕団)	30
令和 3 年 11 月 28 日	日本赤十字社岐阜県支部 (炊き出し指導員養成講習)	6
令和 3 年 12 月 21 日	岐阜市医師会看護学校	38
令和 4 年 1 月 14 日	海津市立今尾小学校	80
合計	7 回	221

## ②防災教育事業指導者の養成

防災教育事業を普及するための指導者を、令和3年度は新たに2名養成した。  
現在10名の指導者（職員4名、ボランティア6名）が県内で活動している。

実施月日	研修名	開催場所	参加者 (人)
令和3年9月28日 29日	日本赤十字社防災教育事業 指導者養成研修会	本社 オンライン研修	2

## 2 講習普及事業

赤十字の理念と使命に基づき、生命と健康を守り、安全で心豊かな生活を営んでいただくために、各種講習会を実施している。前年度に引き続き令和3年度も、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながらの開催となったが、感染防止の観点から開催を中止した講習会も多くあった。

### (1) 救急法

日常生活における事故の防止の他、意識障害・呼吸停止・心停止などただちに手当しないと生命の危険がある傷病者に行う一次救命処置（胸骨圧迫と人工呼吸、AEDの使用方法等）、また、止血のしかた、包帯（三角巾）の使い方、骨折の手当、搬送、災害時の心得などに関する知識と技術を広く普及するため、各種講習会を開催した。

#### ① 支部主催講習

##### ア) 基礎講習

実施月日	実施場所	受講者 (人)	認定証 交付者 (人)
令和3年 4月 18日	日本赤十字社岐阜県支部	7	7
令和3年 5月 3日	日本赤十字社岐阜県支部	3	3
令和3年 7月 11日	日本赤十字社岐阜県支部	8	8
令和3年 7月 18日	日本赤十字社岐阜県支部	7	7
令和3年 7月 25日	日本赤十字社岐阜県支部	10	10
令和3年 8月 4日	高山市民文化会館	8	8
令和3年 11月 14日	日本赤十字社岐阜県支部	10	10
令和3年 12月 5日	日本赤十字社岐阜県支部	8	8
令和4年 1月 16日	日本赤十字社岐阜県支部	6	6
計	9回	67	67

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、実技については身体的接触を伴わない内容に変更して実施した。

##### イ) 救急員養成講習

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、身体的接触を伴う実技ができなかったため中止とした。

## ② 支部主催以外の講習

### ア) 基礎講習

実施主体	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的団体	その他	計
回数	2	0	0	0	5	0	7
受講者(人)	14	0	0	0	130	0	144
認定証交付者 (人)	14	0	0	0	130	0	144

### イ) 救急員養成講習

実施主体	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的団体	その他	計
回数	2	0	0	0	3	0	5
受講者(人)	12	0	0	0	98	0	110
認定証交付者 (人)	12	0	0	0	98	0	110

※日本赤十字社職員、警察職員等、職務上受講が必要であり、感染対策を十分に講じている団体に限り実施した。

### ウ) 短期講習

実施主体	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的団体	その他	計
回数	5	0	51	9	54	1	120
受講者(人)	70	0	1,833	168	1,833	10	3,914

### エ) オンラインによる短期講習

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、オンライン上での講習講義や映像を使用した指導を実施した。

実施主体	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的団体	その他	計
回数	0	0	2	0	0	0	2
受講者(人)	0	0	241	0	0	0	241

## (2) 水上安全法

水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本や自己保全・事故防止、溺者の救助方法、応急手当の方法などを学ぶための講習会を計画したが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から身体的接触を伴う実技ができなかったため、次の講習については中止とした。

### ①支部主催講習

#### ○救助員Ⅰ養成講習

### ②支部主催以外の講習

#### ○短期講習

## (3) 健康生活支援講習

高齢期を健やかに過ごすため、高齢者の健康と安全、介護予防、地域における高齢者支援、自立をめざした介護の方法などを学ぶ講習会を開催した。

また、短期講習として、「災害時高齢者生活支援講習」、「こころとこころの架け橋講習」などの講習を実施した。



短期講習で健康体操を行っている様子

### ①支部主催講習会

#### ア) 支援員養成講習

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、身体的接触を伴う実技ができなかったため中止とした。

#### イ) 短期講習

#### ○災害時高齢者生活支援講習

実施月日	実施場所	受講者 (人)
令和3年6月23日	日本赤十字社岐阜県支部	4
令和3年8月5日	高山赤十字病院 (病院職員対象)	3
令和3年8月5日	高山市役所 (一般対象)	3
計	3回	10

### ○こころとこころの架け橋講習

実施月日	実施場所	受講者（人）
令和3年 6月 24日	日本赤十字社岐阜県支部	4
令和3年 10月 7日	高山赤十字病院（病院職員対象）	3
計	2回	7

### ○癒しのハンドケア講習及びリラクゼーション講習

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、身体的接触を伴う実技ができなかったため中止とした。

### ○地域で支える認知症講習

実施月日	実施場所	受講者（人）
令和3年 10月 5日	岐阜赤十字病院	7
令和3年 11月 11日	高山赤十字病院	5
計	2回	12

### ②支部主催以外の講習

#### ア) 支援員養成講習

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、身体的接触を伴う実技ができなかったため中止とした。

#### イ) 短期講習

実施主体	赤十字関係施設	赤十字関係団体	町内会自治会	学校	企業	公的団体	その他	計
回数	2	6	0	0	0	4	1	13
受講者（人）	21	66	0	0	0	127	20	234

### ③地域包括ケア事業への取組み

健康生活支援講習を通じて、生活支援や介護予防の担い手を育成し、地域の自助と互助の力を高めることにより、可能な限り住み慣れた地域で元気に暮らすための仕組みづくり（地域包括ケアシステム）に取り組んでいる。

令和3年度は、岐阜市長森西分団をモデル地区とし、活動に必要な知識と技術を学ぶため短期講習を実施した。

また、地域包括ケアの取組みに関するチラシを作成し、地域福祉関係団体などに配布し周知を行った。



#### (4) 幼児安全法

こどもが健康で安全に育つことを願って、こどもに起こりやすい事故の予防と救命手当・応急手当の方法、こどもの病気と看病のしかたについて学ぶ講習会を開催した。

また、子育て中の保護者や家族、保育従事者及び子育て支援者等への短期講習の普及拡大を推進するため、短期講習を「すくすく子育てサポート講習」という親しみやすい名称を付けて実施しており、コロナ禍においても出前講習の要請が多くあった。

##### ① 支部主催講習

###### ア) 支援員養成講習

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、身体的接触を伴う実技ができなかったため中止とした。

###### イ) 短期講習（すくすく子育てサポート講習）

実施月日	実施場所	受講者（人）
令和3年 7月 3日	日本赤十字社岐阜県支部	3
令和3年 10月 23日	日本赤十字社岐阜県支部	2
令和3年 11月 13日	日本赤十字社岐阜県支部	4
計	3回	9

##### ②支部主催以外の講習

###### ア) 支援員養成講習

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、身体的接触を伴う実技ができなかったため中止とした。

###### イ) 短期講習（すくすく子育てサポート講習）

実施主体	赤十字 関係 施設	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	幼稚園 保育園	企業	公的 団体	その他	計
回数	0	0	0	0	10	2	27	1	40
受講者 (人)	0	0	0	0	117	13	551	10	691

##### ③子育て支援ボランティア養成講座

幼児安全法託児付き講習を充実させるため、子育て支援ボランティア養成講座を計画したが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から中止とした。

## (5) 指導員の養成・研修等の実施状況

### ①指導員登録状況

赤十字の協力者（ボランティア）として、応急手当の方法などを広く一般に普及するための知識と技術を有した指導員を登録し、県内の講習普及の担い手として活動していただいている。

(単位：人)

講習種別	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
救急法指導員	87	99	94	91	93
水上安全法指導員	11	11	11	11	11
健康生活支援講習指導員	71	65	68	68	67
幼児安全法指導員	33	36	33	32	31

### ②指導員研修の実施

各講習の更新事項の伝達などを内容とした研修を指導員に対し毎年実施しているが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、書面開催及び動画配信により実施した。

### ③指導員養成講習の開催

赤十字の理念と使命を理解し、講習普及に尽力できる十分な知識と技術を持った実働的な指導員を養成するため、令和 3 年度は救急法指導員養成講習を計画したが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、身体的接触を伴う実技ができなかったため中止とした。

### 3 赤十字奉仕団、ボランティアの活動

赤十字奉仕団は、人道・博愛に基づく赤十字理念の実践者としてボランティア活動を行い、赤十字事業の根幹を支えている。

県内では、42 市町村で組織されている「地域赤十字奉仕団」42 団、社会人や学生などで組織される「青年赤十字奉仕団」2 団、アマチュア無線技術、赤十字救急法指導員資格、健康生活指導員資格を持つ看護師経験者、青少年赤十字加盟校での指導実績を持つ教員経験者などで組織され、それらの技術や資格を活かした奉仕活動を行う「特殊赤十字奉仕団」7 団が活動中である。



千羽鶴を医療従事者へ贈呈  
(大垣市赤十字奉仕団)

#### (1) 赤十字奉仕団の活動状況

##### ①地域赤十字奉仕団

地域奉仕団は現在、県下 42 の市町村で組織されており、地域の実情に即した活動を実施している。令和 3 年度も新型コロナウイルス感染症の影響により多くの奉仕団活動が制限されたが、感染防止対策を徹底しながら、地域の清掃活動や施設訪問など例年実施している活動や創意工夫を凝らした活動を徐々に再開する奉仕団もあった。

また、奉仕団県下統一事業として実施している在宅高齢者訪問事業も、コロナ禍のもとではあったが、ほぼ例年どおり実施された。

##### ○奉仕団県下統一事業

事業名	対象	実施人数 (人)	実施日
在宅高齢者訪問事業	地域の高齢者の方	13,976	令和 3 年 7 月 7 日前後 または 令和 3 年 11 月 3 日前後



感染対策を徹底し、炊き出し訓練を実施  
(可児市赤十字奉仕団ほか)



手づくりの野菜を福祉施設の職員に贈呈する奉仕団員  
(坂祝町赤十字奉仕団)

## ②青年赤十字奉仕団

社会人で構成される青年赤十字奉仕団は、献血推進や募金活動の他、赤十字事業に関連した諸活動を推進している。また、県内に1団結成されている学生奉仕団と協働した活動も行っている。

令和3年度は、令和2年度から引き続きZOOM等のオンライン会議ツールを活用し定例会を実施したほか、岐阜市内での献血推進活動についても従来どおり実施した。

また、令和3年度第3ブロック支部青年赤十字奉仕団代表者及び支部担当者会議をオンラインにて開催し、主催県として委員長含め3名が会議の企画・運営を行った。



オンライン会議の様子

## ③特殊赤十字奉仕団

### ア) 無線奉仕団

アマチュア無線赤十字奉仕団が岐阜、高山、中津川、下呂を拠点として活動しており、特に災害時の緊急通信の補助として、音声交信のみならず、映像配信などの技術力を駆使したリアルな情報を災害対策本部等に配信できるよう訓練活動をしている。

令和3年度は、感染対策を実施のうえ、全国非常無線通信訓練に複数回参加したほか、6月27日には、岐阜アマチュア無線赤十字奉仕団が主催となって全国非常無線通信訓練を実施し、非常時の通信確保に努めた。

### イ) 安全奉仕団

赤十字の講習指導員により結成された奉仕団で、より良い講習普及活動をめざし、情報交換や指導技術の研鑽を行う他、支部事業の支援活動を実施している。令和3年度は、令和2年度に引き続き、感染対策を実施のうえスキルアップセミナーを開催し、団員の知識と技術の向上を図った。

### ウ) 看護奉仕団

赤十字病院看護師又は退職看護師である健康生活支援講習指導員を中心に結成されている。看護の知識と技術及び講習指導員の経験を活かし、地域での高齢者支援活動や支部事業の支援を計画していたが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、活動を休止した。

### エ) 青少年赤十字賛助奉仕団

小・中・高等学校などで、青少年赤十字の指導にあたられた教員経験者で構成され、青少年赤十字の発展・普及を支援している。

令和3年度は、青少年赤十字作品コンクールの「書」「絵画」作品を審査した。なお、指導援助を計画していたリーダーシップ・トレーニング・センターは、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から中止とした。

## (2) 助成金交付状況

種類	団数 (団)	金額 (円)
地域奉仕団運営助成金	39	1,084,611
特殊奉仕団運営助成金	5	147,824
県下統一事業助成金	32	4,403,203
炊き出し活動助成金	4	41,674
病院ボランティア活動助成金	2	31,890
新設及び創立記念事業助成金	0	0
計		5,709,202

## (3) 奉仕団別組織状況

種別	団数	分団数	班数	団員数 (人)		
				男	女	合計
地域	42	190	171	293	8,258	8,551
青年	2	0	0	5	5	10
特殊	7	4	0	107	27	134
合計	51	194	171	405	8,290	8,695

(内訳 P.19 別表 赤十字奉仕団現況表のとおり)

## (4) 会議及び研修会の開催

### ①会議の開催

#### ア) 本社主催

開催日	事業名	開催場所	参加者 (人)
令和3年 5月28日	赤十字奉仕団中央委員会	岐阜県支部 (WEB開催)	1
令和3年10月28日 令和3年10月29日	赤十字ボランティア ・リーダー研修会	岐阜県支部 (WEB開催)	1

#### イ) ブロック主催

開催日	会議名	開催場所	参加者 (人)
令和3年 6月19日	青年赤十字奉仕団代表者及び 支部担当者会議	岐阜県支部 (WEB開催) (岐阜県支部主催)	6
令和3年10月14日	赤十字奉仕団委員長 並びに担当者会議	岐阜県支部 (WEB開催) (愛知県支部主催)	2

## ウ) 支部主催

開催日	会議名	開催場所	参加者 (人)
令和 3 年 4 月 26 日	地域赤十字奉仕団委員長会議	OKB ふれあい会館	38
令和 3 年 10 月 12 日	圏域別奉仕団委員長 ・地区分区担当者会議	飛騨総合庁舎	8
令和 3 年 11 月 4 日		西濃総合庁舎	12
令和 3 年 12 月 8 日		岐阜県支部	15
令和 3 年 12 月 9 日		可茂総合庁舎	16
令和 3 年 12 月 14 日		東濃西部総合庁舎	8
令和 3 年 12 月 15 日		揖斐総合庁舎	11
令和 3 年 12 月 17 日		中濃総合庁舎	11
		計 7 会場	81
令和 4 年 3 月 10 日	赤十字奉仕団 岐阜県支部委員会	文書開催	—

## ②研修会の開催

### ○支部主催

開催日	研修会名	開催場所	参加者 (人)
令和 3 年 6 月 2 日	基礎研修会	文書開催	—
令和 3 年 9 月 27 日	中堅団員研修会	文書開催	—
令和 3 年 11 月 28 日	炊き出し指導員養成講習	岐阜県支部	6

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、リーダーシップ研修会は中止とした。

## 4 青少年赤十字の活動

生命と健康を大切に【健康・安全】、人間として社会のため、人のために尽くす責任を自覚し、実行する【奉仕】、広く世界の青少年を知り、仲良く助けあう精神を養う【国際理解・親善】の3つの実践目標を掲げ、「気づき、考え、実行する」という自主・自立の態度目標に基づき、児童生徒の発達段階や学校内外の実情に応じた様々な活動に取り組んでいる。

### (1) 活動概要

#### ①青少年赤十字研究推進モニター事業

研究推進モニター事業は、学校生活における青少年赤十字活動を通して、さらなる青少年赤十字の理解と推進を図ることを目的とし、①健康・安全、②奉仕、③国際理解・親善のいずれかに関わる内容をテーマに、1年を通して実践してもらえる学校を、研究推進モニター校として25校を指定し、それらの取組みを支援した。

#### 【研究推進モニター校】

岐阜市立鶉小学校	美濃市立藍見小学校	各務原市立緑陽中学校
岐阜市立長森西小学校	郡上市立牛道小学校	山県市立伊自良中学校
各務原市立那加第三小学校	郡上市立大中小学校	池田町立池田中学校
瑞穂市立西小学校	土岐市立妻木小学校	恵那市立恵那西中学校
大垣市立時小学校	恵那市立大井第二小学校	恵那市立恵那北中学校
海津市立西江小学校	中津川市立下野小学校	飛騨学園高山西高等学校
垂井町立表佐小学校	下呂市立竹原小学校	岐阜県立揖斐特別支援学校
神戸町立南平野小学校	岐阜市立岐阜中央中学校	
美濃市立美濃小学校	岐阜市立岩野田中学校	

#### ②青少年赤十字防災教育推進事業

防災教育推進事業は、防災教育を通して自然災害から青少年の健康と安全を守り、また、学校、地域、家庭における防災意識を高めるため、青少年赤十字防災教育プログラムを活用した実践や、先進的・他校の参考となるような取組みをしてもらえる学校を、防災教育推進校として2校を指定し、それらの取組みを支援した。

#### 【防災教育推進校】

岐阜市立厚見学園	岐阜県立大垣特別支援学校
----------	--------------

#### ③青少年赤十字100周年記念事業推進事業

青少年赤十字は令和4年度に創設100周年を迎えるため、これを機にさらに青少年赤十字への理解を深めてもらうことを目的に、青少年赤十字100周年記念事業推進校として5校を指定し、それらの取組みを支援した。

#### 【100周年記念事業推進校】

養老町立笠郷小学校	大野町立東小学校	岐阜県立岐阜高等学校
高山市立栢尾小学校	東白川村立東白川中学校	

#### ④子ども新聞プロジェクト

このプロジェクトは、東日本大震災をきっかけに、新聞社と岐阜県、愛知県、三重県の日赤支部が連携してスタートした。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から子ども新聞記者としての活動は実施しなかったが、ジャーナリストの池上彰氏と防災について考える朝日新聞防災特集「南海トラフ地震に備える」を開催（愛知、岐阜、三重県支部合同）し、岐阜県から小学生メンバー2名が参加した。本企画により、参加者は、災害に関する様々な疑問を池上氏に質問するなどして防災について学んだほか、当日の様子を新聞やTVで紹介することにより、広く防災意識の啓発を行った。

#### ⑤国際交流事業

平成19年度から愛知県支部とともに、MRC（モンゴル赤十字社）との国際交流を進めており、外国の子どもたちと会話をしたり、文化の違いを体で感じたりすることによって、自分自身や自国を見つめ直す大変良い機会となっている。

令和3年度は、モンゴル国のJRCメンバーを受け入れる予定であったが、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から中止となった。

#### ⑥青少年赤十字作品コンクール～2022年はJRC創設100周年～の開催

作品コンクールは、赤十字活動に対する関心を高めることを目的に、県内青少年赤十字加盟校（園）のメンバーを対象として、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの課題に関する「書」「絵画」の作品を募集し、入賞作品（優秀賞除く）を、県内8カ所において展示し、広く県民に披露した。

##### 【応募数ならびに入賞数】

	書の部	絵画の部
応募数	1,598点	116点
入賞数	72点	20点

##### 【展示会場】

イオンモール各務原	美濃加茂市民ミュージアム
下呂市 星雲会館	大垣市役所
瑞浪市役所	岐阜赤十字病院
岐阜県赤十字血液センター	日本赤十字社岐阜県支部

#### ⑦ワンタッチテントの贈呈

青少年赤十字加盟校への支援の一つとして防災対策の強化や各種行事に活用してもらうため、ワンタッチテント（3m×3m）1張を県内新規加盟校（令和2年度新規加盟校）29校に贈呈した。



ワンタッチテント贈呈式を開催  
（高山市立栃尾小学校）

##### 【贈呈実績】

平成26年度	273校
平成28年度	163校
平成30年度	40校
令和元年度	88校
令和2年度	50校



⑧広報資材の作成

資 材 名	数 量
青少年赤十字岐阜	1,000 部

(2) 加盟校概要

①加盟状況

	令和 2 年度		令和 3 年度		
	加盟校(園)数	メンバー数(人)	加盟校(園)数	メンバー数(人)	加盟率
幼稚・保育園	45	3,926	48	4,186	
小学校	366	101,678	362	100,248	100%
中学校	179	53,564	185	54,174	100%
義務教育学校 <small>(令和元年度から前期・後期を合算し計上)</small>	3	1,354	3	1,290	100%
高等学校等	34	15,572	40	19,061	44.4%
特別支援学校	22	2,575	23	2,583	100%
合 計	649	178,669	661	181,542	

( P.24～ 別表岐阜県青少年赤十字加盟校一覧参照)

②令和 3 年度新規加盟校

幼稚園	上楽学園長森幼稚園 飛騨学園美鳩幼稚園	上楽学園ながもり第二幼稚園
小学校	関市立武儀小学校	大野町立大野小学校大野分校
中学校	岐阜市立草潤中学校 富田学園岐阜東中学校 美濃加茂学園美濃加茂中学校 廣池学園麗澤瑞浪中学校	大野町立大野中学校大野分校 西濃学園中学校 多治見高等学校附属中学校
高等学校	岐阜県立羽島高等学校 岐阜県立加茂高等学校 石井学園啓晴高等学校 廣池学園麗澤瑞浪高等学校	岐阜県立揖斐高等学校 富田学園岐阜東高等学校 大垣日本大学高等学校
特別支援学校	飛騨特別支援学校高山日赤分校	

**(3) トレーニング・センター等の実施状況****①本社主催**

開催日	研修会名	参加者(人)	会場
令和3年 4月9日	支部青少年赤十字担当者説明会	2	岐阜県支部 (Web会議)
6月5日	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	1	岐阜県支部 (Web会議)
12月25、26日	青少年赤十字スタディー・プログラム	2	岐阜県支部 (Web会議)

**②支部主催**

新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から開催を見合わせた。

**③地区協議会主催**

新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から開催を見合わせた。

**(4) 指導者対象の協議会、研修等の実施状況****①本社主催**

開催日	会議名	出席者(人)	会場
令和3年 6月29日	青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	1	岐阜県支部 (Web会議)
7月17日	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	1	Web会議
9月30日	青少年赤十字研究会	1	岐阜県支部 (Web会議)

**②ブロック主催**

開催日	会議名	出席者(人)	会場
令和3年 6月11日	青少年赤十字指導者協議会長及び支部担当者研究会	2	岐阜県支部 (Web会議)
中止	第3ブロック青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会		

**③支部主催**

開催日	会議名	出席者(人)	会場
令和3年 6月22日	青少年赤十字賛助奉仕団第1回役員会	6	岐阜県支部
6月23日	青少年赤十字指導者協議会第1回役員会	5	
7月5日	青少年赤十字賛助奉仕団総会	—	文書審議
7月5日	青少年赤十字指導者協議会総会	—	
令和4年 2月24日	青少年赤十字賛助奉仕団第2回役員会	—	
3月2日	青少年赤十字指導者協議会第2回役員会	—	

## 5 国際活動

紛争や災害で苦しむ人々を救うために、医療救援や衣食住の支援に対する資金援助等を行っている。

### (1) 発展途上国に対する開発計画援助

第3ブロック支部合同による国際活動事業として、シリア難民支援事業、東アフリカ地域3カ国地域保健強化事業及びアジア・大洋州給水・衛生キット支援事業に対して、資金の拠出を行った。

項目	金額 (円)	備考
シリア難民等水衛生管理事業	920,000	第3ブロックとして、3事業で20,000千円を拠出
東アフリカ3カ国地域保健強化事業	690,000	
アジア・大洋州 給水・衛生災害対応キット整備事業	690,000	
計	2,300,000	

### (2) 職員の派遣

世界的に新型コロナウイルス感染症のまん延により、国際派遣事業は行われなかった。

### (3) NHK海外たすけあいキャンペーン

世界各地で多発する災害や紛争等による犠牲者の緊急救援、保健衛生及び防災・減災等の分野における開発協力事業を日本赤十字社が実施するための資金として、募集した。

実施期間	金額 (円)
令和3年12月1日～12月25日	1,366,393

### (4) 国際人道法等の普及

ジュネーヴ諸条約（紛争時における人道遵守）や赤十字基本原則について、指導者を養成し、勉強会や研修会等を実施し、多くの方々への国際人道法の普及に取り組んでいる。

## ①国際活動オンライン勉強会

開催年月日	内容	参加者(人)
令和3年8月27日	赤十字の国際活動の特徴を知ろう	4
令和3年10月1日	日本赤十字社の国際活動のミッションを理解しよう	3
令和3年11月5日	開発協力が目指すレジリエンスとは(ルワンダ派遣)	2
令和3年11月26日	海外たすけあいをアピールできるようにしよう	2

## ②指導者の養成

国際人道法の重要性を理解し、世界の現状と人道法を普及するための知識を持った人材を令和3年度は1名養成し、指導者は7名となった。

### (5) 海外救援金の受付状況

海外で大規模な災害や紛争などの緊急事態が発生した際に、被災国の赤十字社や日本赤十字社が現地で実施する救援活動・復興支援活動の資金として、募集した。

救援金名	件数	金額(円)
中東人道危機救援金	1	1,000
バングラデシュ南部避難民救援金	1	1,000
2021年ハイチ地震救援金	12	35,092
アフガニスタン人道危機救援金	3	14,830
トンガ大洋州噴火津波救援金	15	130,115
ウクライナ人道危機救援金	118	7,330,786
合計	150	7,512,823

### (6) 安否調査の実施

海外において消息不明になった日本人の安否や海外からの安否調査を、依頼により実施している。令和3年度は、安否調査の依頼はなかった。

## 6 県内赤十字施設の運営と連携

### (1) 医療施設の運営

#### ①高山赤十字病院

##### ○新型コロナウイルス感染症への対応

まん延が続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、7床であった専用病床を最大20床に拡充し受け入れを行った。

また、新型コロナウイルス感染症以外の患者の受け入れに対しても、救急医療体制を止めることなく常時受け入れを堅持し、地域住民が安心できる体制に努めた。

##### ○診療体制の充実

医療資源の確保について、不在となっていた循環器内科の常勤医師が2名体制となり、令和4年4月からは、眼科医師1名も確保できることとなった。

高度医療機器の整備について、主に脳卒中疾患に使用する脳血管造影撮影装置の機器を更新した。

救急車受入件数は過去最高となる年間3,000件を超えるなか、飛騨地域の最後の砦として、安定・充実した救急医療体制に努めた。

令和4年度は、病院創立100周年の節目を迎える年となるため、今後も赤十字病院の使命である地域医療の提供に努めてまいりたい。

年度	外来患者数（人）	入院患者数（人）
令和2年度	184,295	108,327
令和3年度	188,772	108,950
前年度比	102.4%	100.6%

#### ②岐阜赤十字病院

令和2年度に続いて新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、新型コロナウイルス感染症への対応と通常診療の両立を迫られた1年であった。それに伴い、岐阜県の要請により、専用病床を36床から40床へ増床し、入院体制の充実を図った。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の診療用に超音波画像診断装置、X線画像診断装置、簡易陰圧装置の整備を行い、診療体制の充実を図った。

また、令和2年度から継続して岐阜県が運営する無症状または軽症患者用宿泊療養施設への看護師派遣や医師によるオンコール対応を担った。加えて、地域の医療従事者や高齢者の方等へのワクチン接種事業においても、日本赤十字社岐阜県支部の協力を得て対応を担った。

日常診療においては、デジタルX線TVシステムやCT撮影装置など老朽化した機器の更新に加え、新型コロナウイルスの感染防止のための面会禁止が続く中で、家族と面会ができるように9月からオンラインでの面会を実施した。その後2月からは日本赤十字社岐阜支部の支援を受け、全病棟及び受付窓口周辺に無線LANを整備し、入院および外来患者様の利便性向上を図った。

年度	外来患者数（人）	入院患者数（人）
令和2年度	138,612	69,330
令和3年度	143,684	70,670
前年度比	103.7%	101.9%

## （2）血液事業の推進

令和3年度の事業運営にあたっては、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症により血液確保に大きな影響を受けた一年となった。

献血推進事業では、例年、県、市町村及び献血協力団体と協同で実施している「愛の血液助け合い運動」や県、県献血推進協議会、県支部と共催で実施している「献血感謝の集い」などのイベントは中止となったが、学域献血や「献血セミナー」については、授業の再開に伴い令和2年度に比べ微増となった。

事業所献血も多くが中止となる中、感染症対策（職員の健康チェック、マスク着用、手指消毒、献血会場の良好な衛生環境の保持等）の徹底を図ったうえで、事業所への再依頼や献血ルーム、街頭献血における献血者確保に努めた結果、新規の団体、事業所等での献血が可能となった。また、献血者の利便性の向上、密の防止を図りながら、献血推進・予約システムである「ラブラッド」での事前予約を推進し、献血者の確保を行った。

医療機関が必要とする輸血用血液については、新型コロナウイルス感染症まん延下においても、遅滞なく安定的に供給することができた。

### ① 献血の状況

区分	令和2年度	令和3年度	前年度比	
200mL 献血	2,306 人	2,272 人	98.5%	
400mL 献血	43,686 人	45,444 人	104.0%	
成分献血	血漿	14,536 人	13,234 人	91.0%
	血小板	8,212 人	8,108 人	98.7%
計	68,740 人	69,058 人	100.5%	

区分	令和2年度	令和3年度
400mL 比率	95.0%	95.2%

### ② 供給の状況

区分	令和2年度	令和3年度	前年度比
赤血球製剤	109,702 単位	114,446 単位	104.3%
血漿製剤	31,098 単位	35,267 単位	113.4%
血小板製剤	132,330 単位	139,475 単位	105.4%
計	273,130 単位	289,188 単位	105.9%

※1 単位とは、200mL 献血由来の製剤をいう。400mL 献血由来は、2 単位製剤となる。

※数値は、当センター供給エリアにおける単位数を示す。供給エリアの内訳は以下のとおり。

岐阜県：東濃地区（多治見市、土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市）を除く全域

愛知県：一宮市、江南市、犬山市（一部）、扶桑町

### (3) 赤十字施設間会議の開催

#### ①支部・施設事務（事業）部長連絡会議（2回）

開催日・会場	令和3年10月14日（木）日本赤十字社岐阜県支部2階中会議室
主な協議事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和3年度職員採用試験（令和4年度採用者）の結果について</li><li>・令和4年度人事について（交流、新規採用）</li><li>・令和4年度社長任命職員の人事について</li><li>・令和5年度職員採用について</li><li>・令和4年度本社研修について（基幹幹部、中堅幹部、新規採用）</li></ul>

開催日・会場	令和3年12月3日（金）日本赤十字社岐阜県支部2階中会議室
主な協議事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和3年度本社人事関係提出物一覧について</li><li>・令和4年度向け人事交流・異動事務日程について</li><li>・令和4年度人事交流（案）について</li><li>・令和5年度に向けての新規採用試験について</li><li>・令和4年度研修実施計画（案）について</li><li>・令和3年度新規採用職員就業前研修会について</li><li>・日本赤十字社岐阜県支部評議員会の開催について</li></ul>
報告事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和3年度期中調査の結果について</li></ul>

#### ②人事交流・異動候補者調整会議（1回）

開催日・会場	令和4年1月12日（水）日本赤十字社岐阜県支部2階中会議室
主な協議事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和4年度人事交流・異動候補者について</li><li>・令和4年度新規採用職員の配属について</li></ul>

### (4) 監査及び予備調査の実施

日本赤十字社では、令和元年7月から業務の管理及び執行並びに会計を監査するため外部監査法人による会計監査を導入しているが、令和3年度は、7月に日本赤十字社監査室による内部監査が、10月には外部監査法人による外部監査が岐阜県支部を対象にそれぞれ実施された。

また、岐阜県支部では、監査委員による監査のほか、同監査を補完するため、令和2年度及び3年度における会計及び事業の執行について、公認会計士等による予備調査を期中・期末に実施している。

いずれの監査においても、検出事項については、速やかに是正改善を行い報告した。今後も適正な業務遂行を図っていく。

①日本赤十字社監査室による内部監査（オンライン監査）

調査内容	①内部統制調査 ・収益取引 ・財務管理 ・購買取引 ・棚卸資産取引・管理 ・固定資産取引・管理 ・決算 ・給与 ・I T ②補助簿との突合
------	--

②外部監査法人による会計監査（実地監査）

調査内容	①規程や会計処理マニュアルの運用状況の確認 ②内部統制の整備・運用状況の確認 （収益取引、財務取引、購買取引、棚卸資産取引・管理、固定資産取引・管理、人件費、決算に関する内部統制） ③会計方針の確認、会計処理に関する問題事項の把握 ④現物確認（現金、通帳、金庫の実査等）
------	---

③監査委員による監査（書面監査）

対象施設名	監査日
岐阜県支部、高山赤十字病院 岐阜赤十字病院、岐阜県赤十字血液センター	令和3年5月26日

④公認会計士等による予備調査

ア) 令和2年度事業に係る予備調査（実地監査）

施設名	期末予備調査実施日
岐阜県支部	令和3年5月7日
高山赤十字病院	令和3年4月22, 23日
岐阜赤十字病院	令和3年4月20, 21日
岐阜県赤十字血液センター	令和3年5月10日

イ) 令和3年度事業に係る予備調査

施設名	期中予備調査実施日
高山赤十字病院	令和3年10月26, 27日
岐阜赤十字病院	令和3年10月28, 29日



## 7 看護師の養成

### (1) 赤十字看護師の養成

保健医療活動、災害救護活動など国内外で活躍できる優秀な看護師を養成するため、日本赤十字豊田看護大学岐阜県支部長推薦制度を設けて、看護師の養成を行っている。

#### 養成の状況

学年	養成数 (人)
第1学年	4
第2学年	4
第3学年	3
第4学年	3
計	14



日本赤十字豊田看護大学（愛知県豊田市）

### (2) 学生確保のための活動

#### ①入学説明会

岐阜県支部長推薦生の確保のため、県内高等学校進路指導担当教諭への説明会を次のとおり開催した。(岐阜地域のみ)

開催日	令和3年7月6日(火)
会場	日本赤十字社岐阜県支部
参加者数	6人
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・大学概要説明</li><li>・令和4年度赤十字特別推薦選抜試験制度の説明</li><li>・岐阜県支部長推薦入学生奨学金制度の説明</li><li>・高山・岐阜赤十字病院の紹介</li></ul>

※高山地域においては、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、高等学校4校を訪問し、上記内容の説明を行った。

#### ②合格者説明会

合格した岐阜県支部長推薦生を対象に、入学手続き等に関する説明会を実施した。また、支部長推薦生として病院に勤務している卒業生との交流会を行い、大学生活や就職についてのアドバイスをいただいた。

開催日	令和4年1月28日(金)
会場	日本赤十字社岐阜県支部
参加者数	4人(合格者2人及びその保護者)

## 8 赤十字思想の普及・広報

### (1) イベントの開催

赤十字思想の普及と日頃の活動を紹介するイベントとして、例年「赤十字フェアぎふ」を開催しているが、令和3年度は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、展示形式で実施した。

実施場所等	開催日
イオンモール各務原（防災展示フェア）	令和3年 7月 3日
ぎふメディアコスモス広場（岐阜市防災フェア）	令和3年 10月 17日
モレラ岐阜「日赤県支部と考える濃尾地震130年と防災」	令和3年 12月 1日 ～令和4年 1月 10日

### (2) 広報資材の作成と配布

#### ①支部作成

資材名	部数		
「日赤ぎふ」（県内全世帯へ配布）	636,000部		
「赤十字だより ぎふ」 （市町村窓口、公共施設、赤十字関係者へ配布）	第54号（7月）	11,700部	22,300部
	第55号（1月）	10,600部	

#### ②本社作成

資材名	部数		
「赤十字NEWS」 （市町村窓口、公共施設、赤十字関係者へ配布）	4月号	1,300部	19,750部
	5月号	4,700部	
	6月号	1,300部	
	7月号	1,300部	
	8月号	1,350部	
	9月号	1,700部	
	10月号	1,500部	
	11月号	1,400部	
	12月号	1,300部	
	R4.1月号	1,300部	
	2月号	1,300部	
3月号	1,300部		
ポスター（運動月間／ブランディング広報）	2,600部		
パンフレット	31,500部		

### (3) メディアを活用した広報展開

新聞紙面による広告掲載（運動月間）	中日新聞・岐阜新聞・朝日新聞	5月8日
新聞紙面による広告掲載（防災月間）	朝日新聞	9月3日
岐阜放送によるテレビCM放映	15秒スポット／122回	5.6.9.10月
J R岐阜駅前大型ビジョンCM放映	15秒スポット／930回	5月
県内大垣共立銀行店舗におけるCM放映	15秒スポット／600回	5月
路線バス車内ステッカー広告	東濃鉄道・北恵那交通・濃飛バス／計58台	4月～3月
遺贈、相続財産等のWEB広告		4月～3月
日本赤十字社岐阜県支部公式YouTubeチャンネル		4月～3月
高校生向け広報誌への広告掲載	岐阜新聞：高校ダイアリー春号	3月

### (4) 赤十字思想の普及

高山赤十字病院内でのイベントにおいて、公式マスコットキャラクター「ハートラちゃん」の着ぐるみを活用して赤十字のPR活動を行った。  
また、公式マスコットキャラクターをデザインした広報グッズを配布した。

#### 令和3年度整備広報グッズ

クリアファイル（3,000枚）	エコバッグ（900枚）
-----------------	-------------

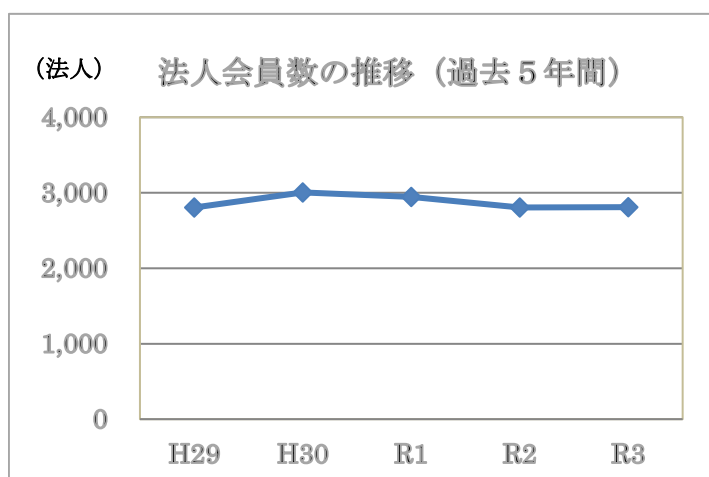
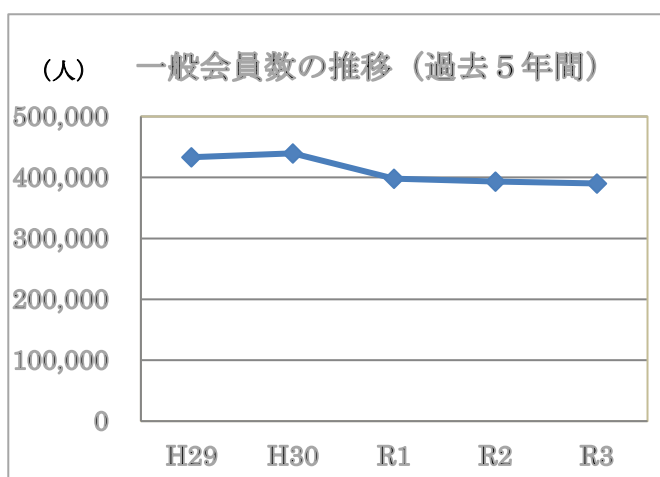
## 9 会員と活動資金

### (1) 会員及び社資の状況

日本赤十字社の事業は、会員等からいただいた社資によって運営されており、会員及び社資の状況は次のとおりである。

#### ① 会員の状況

区分 年度	一般会員数 (人)	一般協力 会員数(件)	一般計	法人会員数 (法人)	法人協力 会員数(件)	法人計
H29	326	432,682	433,008	238	2,566	2,804
H30	397	439,144	439,541	330	2,674	3,004
R1	491	397,410	397,901	394	2,550	2,944
R2	659	392,857	393,516	409	2,397	2,806
R3	754	389,390	390,144	477	2,332	2,809

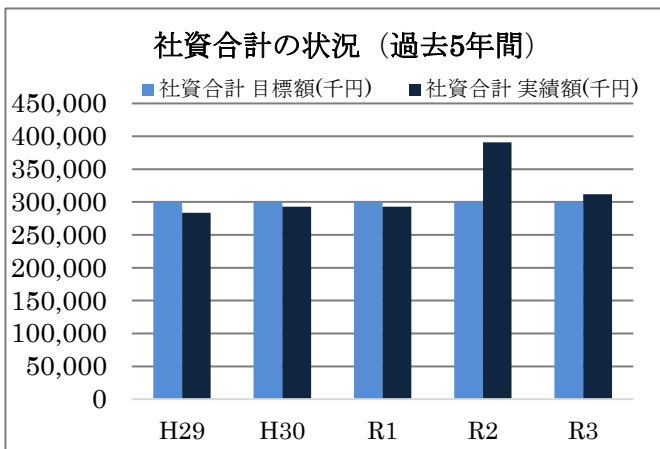
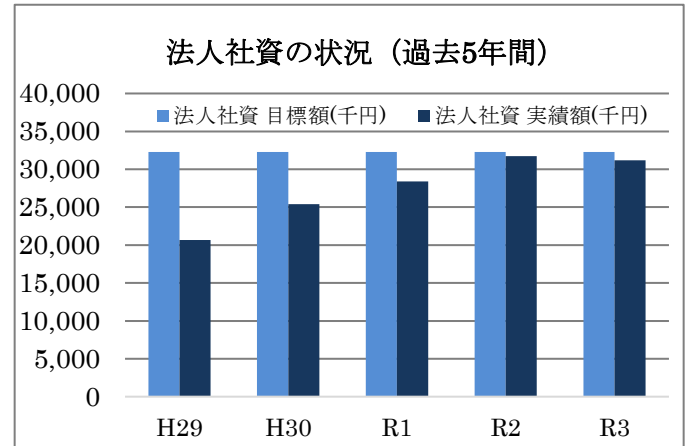
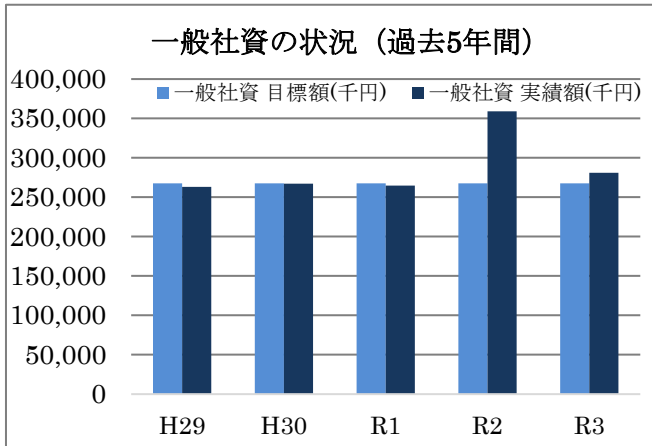


※会員・協力会員の合計

#### ② 社資の募集状況

区分 年度	一般社資			法人社資			計		
	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)
H29	267,700,000	262,982,701	98.2	32,300,000	20,667,056	64.0	300,000,000	283,649,757	94.5
H30	267,700,000	267,308,866	99.9	32,300,000	25,403,610	78.6	300,000,000	292,712,476	97.6
R1	267,700,000	264,651,764	98.9	32,300,000	28,409,645	88.0	300,000,000	293,061,409	97.7
R2	267,700,000	359,127,238	134.2	32,300,000	31,726,959	98.2	300,000,000	390,854,197	130.3
R3	267,700,000	280,930,430	104.9	32,300,000	31,180,417	96.5	300,000,000	312,110,847	104.0

※ 上記社資実績額には、一般指定事業社資収入扱いとなる海外救援金は含まれておりません。



## （２）会員の拡充強化

赤十字の目的に賛同し、運営に参画する会員の拡充を進めるためダイレクトメールの送付や振込用紙付会員募集チラシを配架した。

また、社会貢献のための遺贈・相続財産寄付の寄付先として日本赤十字社を広く周知するため、金融機関と相談業務に関する協定を締結したほか、弁護士等へ遺贈・相続財産寄付案内パンフレットを送付した。

### 【ダイレクトメール送付数】

	個人	法人	計
令和2年度	29	2,656	2,685
令和3年度	28	3,585	3,613

### 【会員募集チラシ配架先】

岐阜県図書館	OKBふれあい会館	ぎふ清流文化プラザ
岐阜メモリアルセンター	ソフトピアジャパン	ぎふメディアコスモス

### 【遺贈・相続財産寄付パンフレット送付先】

岐阜県弁護士会	岐阜県司法書士会	岐阜県行政書士会	名古屋税理士会
---------	----------	----------	---------

### (3) 岐阜県赤十字有功会

#### ①概況

岐阜県赤十字有功会は、社資功労による有功章を受章された個人・法人の方々が、日本赤十字社の活動を支援するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的として、平成 21 年 3 月 4 日に設立された任意の支援団体である。

#### 【岐阜県赤十字有功会会員数】

	個人会員	法人会員	計
令和 2 年度	28	89	117
令和 3 年度	30	90	120

#### ②事業

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を一部変更して実施した。

##### ア) 総会の開催

例年 7 月に開催している総会は、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催を取り止め、文書審議とした。

##### イ) 県内赤十字病院への寄付金贈呈

コロナ禍のもとでの新たな社会貢献事業として、令和 3 年度は高山地域において新型コロナウイルス患者の対応を行ってきた高山赤十字病院へ寄付金を贈呈した。

贈呈式は令和 3 年 10 月 28 日に開催され、会長から病院長に寄付金が手渡された。高山赤十字病院は贈られた寄付金でタブレット端末を整備し、入院患者との非対面・非接触での病状確認に活用した。



高山赤十字病院への寄付金贈呈

##### ウ) 青少年赤十字加盟校への図書贈呈

子どもたちに豊かな心を育んでもらうことや、赤十字について知ってもらうことを目的に、平成 21 年度から青少年赤十字加盟校へ図書を贈呈しており、今年度は、幼稚園・保育園 22 園、小学校 1 校、中学校 6 校、高等学校 7 校に図書及び図書カードを贈呈した。なお、新型コロナウイルス感染拡大のため贈呈式は取り止めとなった。

#### (4) 企業等とのパートナーシップ

社会貢献活動に意欲のある企業・団体の創立・周年を記念した寄付や寄付つき商品、株主優待、ポイントプログラムなどを活用し、赤十字活動との連携を進める。

##### ①パートナー企業の状況

寄付つき商品や株主優待、ポイントプログラムとして、日本赤十字社への寄付を導入

導入企業	寄付金付自動販売機	12 社
	株主優待	3 社
	ポイント交換	1 社

##### ②カウンタープレートの配付

日本赤十字社の活動支援企業であることを表すカウンタープレートを法人会員、寄付金付き自動販売機設置先ならびに有功会法人会員へ配布

配布先	法人会員	413 社
	有功会法人会員	89 社
	寄付金付自動販売機設置先 (有功会員を除く)	11 社

#### (5) 表彰

日本赤十字社への寄付や赤十字活動における顕著な功労者に対し表彰を行った。

##### 【表彰の種類と件数】

功労区分	表彰区分	件数
社資功労 (個人)	銀色有功章	14 件
	金色有功章	12 件
	社長感謝状	5 件
	厚生労働大臣感謝状	4 件
	紺綬褒章	2 件
社資功労 (法人・団体)	銀色有功章	9 件
	金色有功章	3 件
	社長感謝状	4 件
業務功労 (個人、法人・団体)	銀色有功章	181 件
	金色有功章	97 件
	社長感謝状	1 件

※社資功労：社資累計額が 20 万円以上で  
銀色有功章  
社資累計額が 50 万円以上で  
金色有功章  
個人 100 万円以上、法人 300 万円  
以上で厚生労働大臣感謝状  
個人 500 万円以上、法人 1,000 万円  
以上で紺綬褒章  
業務功労：赤十字関係役職功労  
奉仕団・奉仕団員継続活動功労  
青少年赤十字加盟校継続活動功労  
赤十字講習指導員継続活動功労  
献血功労 等

##### 【金色有功章：個人】



有功章記



有功章 (男性)



有功章 (女性)



略章

##### 【金色有功章：法人・団体】



有功章 (楕型)



略章

## 10 役員・評議員

### (1) 岐阜県支部の組織

岐阜県支部の運営は、支部評議員会等の決定事項を踏まえ、各地区・分区の協力を得ながら行っている。

令和3年度に開催した評議員会、地区分区との主要会議の状況は次のとおりであるが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、集合形式での開催を取り止め、文書審議を行った。

#### ①日本赤十字社及び岐阜県支部役員等の就任状況

P. 51～ 参照

#### ②地区分区所在一覧

P. 56～ 参照

### (2) 評議員会等の開催状況

#### ①評議員会の開催状況（文書審議）

令和3年4月27日（火）	
議 題	1 令和3年度日本赤十字社岐阜県支部副支部長の選出について

令和3年6月23日（水）	
議 題	1 令和2年度事業報告について 2 令和2年度一般会計・医療施設特別会計歳入歳出決算について 3 日本赤十字社岐阜県支部副支部長の選出について

令和4年2月16日（水）	
議 題	1 令和3年度 医療施設特別会計歳入歳出補正予算について 2 令和3年度事業計画について 3 令和3年度一般会計・医療施設特別会計歳入歳出予算について 4 日本赤十字社代議員の選出について

#### ② 地区・分区担当者会議の開催状況

開催日	場所	出席者 (人)	次第
令和3年4月13日（火）	飛騨総合庁舎	5	1. 事業計画 2. 組織振興関係事業
令和3年4月16日（金）	可茂総合庁舎	14	
令和3年4月19日（月）	西濃総合庁舎	12	
令和3年4月23日（金）	東濃西部総合庁舎	5	
令和3年4月26日（月）	岐阜県支部	10	



## 11 人材育成

### (1) 職員研修の実施状況

支部及び県内赤十字施設職員の資質向上のため、本社、第3ブロック、支部が主催する各種研修へ職員を参加させ、人材育成を図った。

主催者	研修名	開催日	参加者 (人)
本社	中堅幹部職員養成研修会 (WEB)	令和3年 9月15日～17日 令和3年10月 6日～ 8日	1
	基幹幹部職員養成研修会 (WEB)	令和3年10月26日、27日	1
	新規採用職員 1年目フォローアップ 研修会 (WEB)	令和3年12月15日、16日	1
	新規採用職員 2年目フォローアップ 研修会 (WEB)	令和4年1月27日、28日	3
	eラーニング 研修	令和3年5月～12月	13
ブロック	新任課長研修会 (WEB)	令和3年10月12日、13日	6
	新任係長研修会 (WEB)	令和3年11月15日、16日	8
支部	中堅職員研修 (WEB)	令和3年11月18日、19日	14
	新規採用職員就業前研修 (令和4年度採用)	令和4年2月14日、15日	3
	メンタルヘルス研修 (ライン研修) (WEB)	令和4年2月24日	9
	メンタルヘルス研修 (ライン研修) (動画研修)	令和4年3月1日～31日	30

## (2) 職員の採用状況

次世代の赤十字事業を担う優秀な職員を採用するため、岐阜県支部では、事務系一般職の合同採用試験を実施しており、令和3年度は次のとおり実施した。

### ①令和3年度新規職員採用試験実施状況（令和4年度採用者対象）

試験名		開催日	合格者数(名)
新規職員採用試験 (令和4年度採用)	第1次試験 書類選考 課題提出	令和3年5月6日(木)～ 令和3年5月21日(金)	17
	第2次試験 筆記試験 適性検査 (Web試験)	令和3年6月3日(木)～ 令和3年6月7日(火)	12
	第3次試験 面接 (個人)	令和3年6月18日(金)	3

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、グループディスカッション形式の面接は中止とした。

### ②令和3年度新規採用職員

施設名	新規採用職員配属数(名)
高山赤十字病院	1